



## 豆の木通信 第4号

2009年 1月発行 てらだ小児科

HP もごらんください

<http://www.genki-kodomo.net>

TEL 0798-41-8115

新しい1年が始まりました。今年も気持ちを新たに小児医療に取り組んでいきたいと思えます。今年最初のニュースは、12月に発売開始となったヒブワクチンについてです。

### <ヒブとは>

「ヒブ Hib」とは「インフルエンザ菌 b 型」という細菌の略称です。冬に流行するインフルエンザの原因はウイルスで、これとはちがう細菌の1種です。小さい子どもの肺炎や髄膜炎・敗血症の原因となる恐ろしい細菌です。

### <髄膜炎とは>

体の中で最も大切な部分である脳や脊髄を包んでいる膜を髄膜と言います。この髄膜に細菌やウイルスが感染して炎症がおこる病気が髄膜炎です。細菌性髄膜炎の初期症状は高熱や頭痛・嘔吐・吐き気・けいれん・不機嫌などです。病気の始まりは風邪などの症状に似ているので、早期に診断するのが難しいことがあります。

細菌性髄膜炎の原因の半分以上を占めているのが「インフルエンザ菌 b 型」(ヒブ Hib)です。「ヒブ」による髄膜炎は、5歳未満の乳幼児がかかりやすく、特に生後3か月から2歳になるまではかかりやすいので注意が必要です。

日本では年間に約600人がヒブによる髄膜炎を発症していると考えられています。抗生物質がよく効くと、順調に回復してきます。しかし、最近は抗生物質の効かない耐性菌が増えてきて治療を難しくしています。死亡率は5% (年間約30人)、約25%の人(約150人)に発達障害や聴力障害・てんかんなどの後遺症が残ることがあるといわれています。

### <ワクチンの効果>

このワクチンは1992年にフランスで承認され、現在世界100カ国以上で使用されています。米国ではヒブ感染症は導入前の1/100以下に減少しました。これまでに1億5000万回以上の接種が行われてきましたが、重大な副反応はほとんどありません。

### <接種方法>

1. 生後2か月から接種可能です。(2か月-6か月)  
1歳までに3回(4-8週間隔)、1歳を過ぎてから(1年後に)4回目の追加接種を行います。
2. 7か月以上~1歳未満  
1歳までに2回(4-8週間隔)、1歳を過ぎてから(1年後に)3回目の追加接種を行います
3. 1歳以上5歳未満では1回接種でよいとされています。

料金は1回 7000円です。

### <予約について>

メーカーが各医療機関に出荷本数を割り当てています。入荷までに2-3か月かかる場合がありますので、予約をいただいてから接種が可能となるまでに時間がかかりますがご了承ください。